

2018年度Q1連結累計期間

決算IR資料

2018年8月6日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2018年度Q1累計 連結決算概況

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 収支の状況 | P3 |
| 2. 財務の状況 | P11 |
| 3. 資源セグメントの状況 | P15 |

II. 2018年度 感応度 P16

I. 2018年度Q1累計 連結決算概況

1. 収支の状況

(1)総括

○5/10公表比較

連結純利益は、上期公表値29.0億円に対し12.2億円と42%の進捗率となりました。上期公表値に占めるQ1ターゲットの比率を考慮すると、ほぼ計画どおりの水準となりました。

○前年同期比較

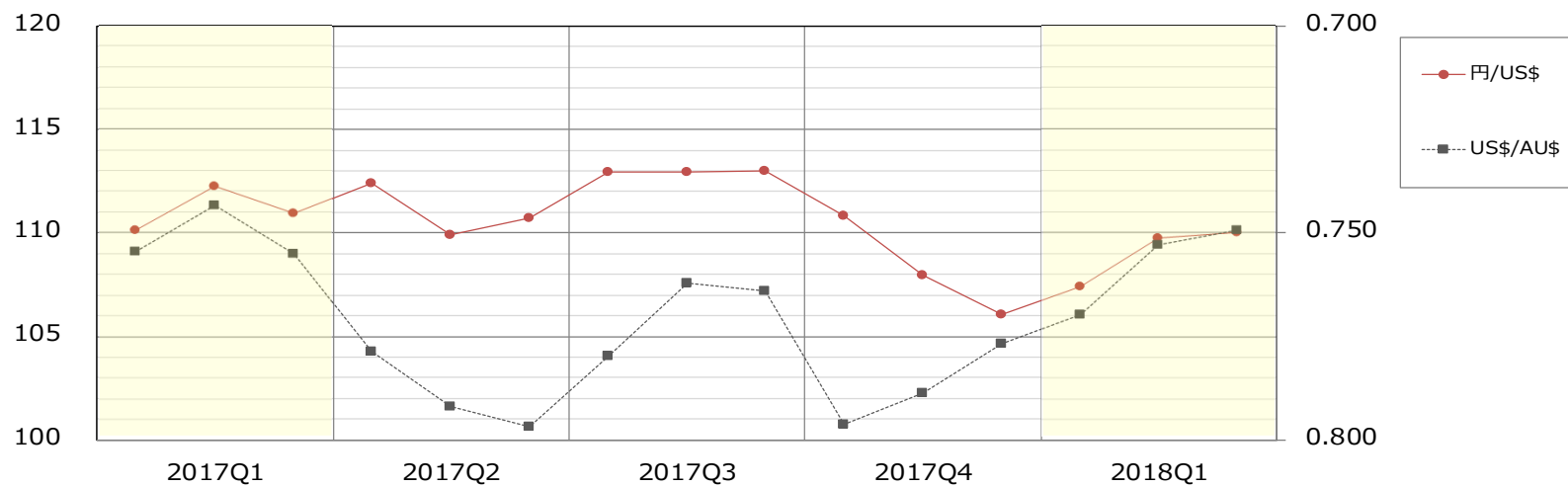
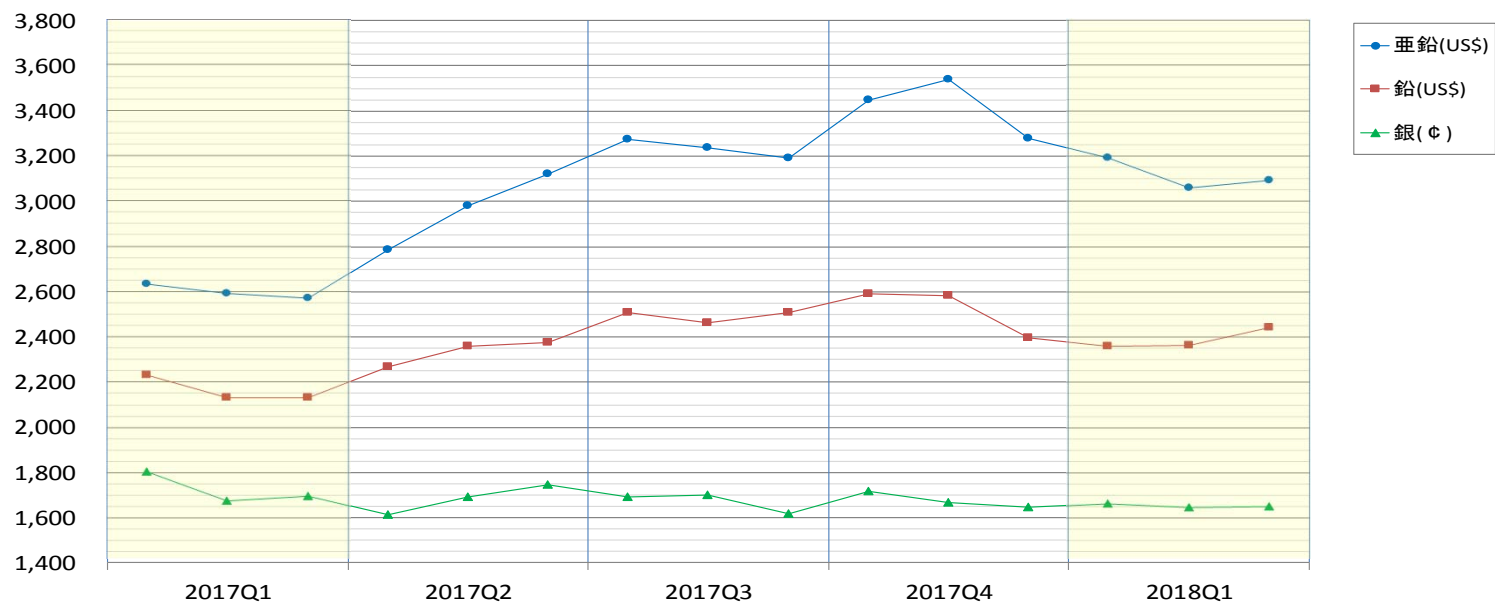
低価法評価損益の改善により製錬セグメントが前年同期比4.6億円の増益となったことを主因として、連結営業利益は7.2億増益の16.0億円、連結経常利益は6.2億増益の15.7億円、連結純利益は4.8億増益の12.2億円となりました。

単位:億円

連結売上高	307
連結営業利益	16.0
連結経常利益	15.7
連結純利益	12.2

1. 収支の状況

(2) 市況推移



1. 収支の状況

(3)Q1累計の状況(市況・生産量)

			上期(5/10公表)	Q1累計	進捗率
市況	亜鉛(米\$/t)		3,200	3,114	/
	鉛(米\$/t)		2,400	2,387	
	銀(米\$/toz)		17.0	16.5	
	円/米\$		105.0	109.1	
	米\$/豪\$(1~3月)		0.780	0.786	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)		46.4	27.0	58%
	鉛製品(千t)		49.5	25.1	51%
	電気銀(t)		170	92	54%
資源セグメント CBH社関連(1~3月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	322	143	44%
		ラスプ	359	177	49%
		計	681	320	47%
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	25.3	12.9	51%
		ラスプ	28.6	12.6	44%
		計	53.9	25.5	47%
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	12.9	6.9	54%
		ラスプ	13.4	5.8	43%
		計	26.3	12.7	48%

1. 収支の状況

(4)Q1累計の状況(収支)

		上期(5/10公表)	Q1累計	進捗率
売上高(億円)		660	307	47%
営業利益(億円)	製錬	3.0	4.1	136%
	資源	25.0	1.5	6%
	電子部材	3.0	1.5	50%
	環境・リサイクル	11.0	5.3	48%
	その他	2.0	1.4	72%
	調整額	△7.0	2.2	—
	計	37.0	16.0	43%
経常利益(億円)		36.0	15.7	44%
純利益(億円)		29.0	12.2	42%
EBITDA(億円)		68.5	30.7	45%

1. 収支の状況

(5)前年同期比較(市況・生産量)

			前年同期	Q1累計	差(実額)	差(%)
市況	亜鉛(米\$/t)		2,598	3,114	515	20
	鉛(米\$/t)		2,165	2,387	223	10
	銀(米\$/toz)		17.3	16.5	△0.7	△4
	円/米\$		111.1	109.1	△2.0	△2
	米\$/豪\$(1-3月)		0.761	0.786	0.025	3
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)		26.7	27.0	0.3	1
	鉛製品(千t)		25.0	25.1	0.0	0
	電気銀(t)		98	92	△6	△6
資源セグメント CBH社関連(1-3月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	41	143	102	249
		ラスプ	163	177	14	9
		計	205	320	115	56
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	4.1	12.9	8.8	214
		ラスプ	10.7	12.6	1.9	18
		計	14.8	25.5	10.7	72
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	2.5	6.9	4.4	176
		ラスプ	5.9	5.8	△0.1	△1
		計	8.4	12.7	4.3	52

1. 収支の状況

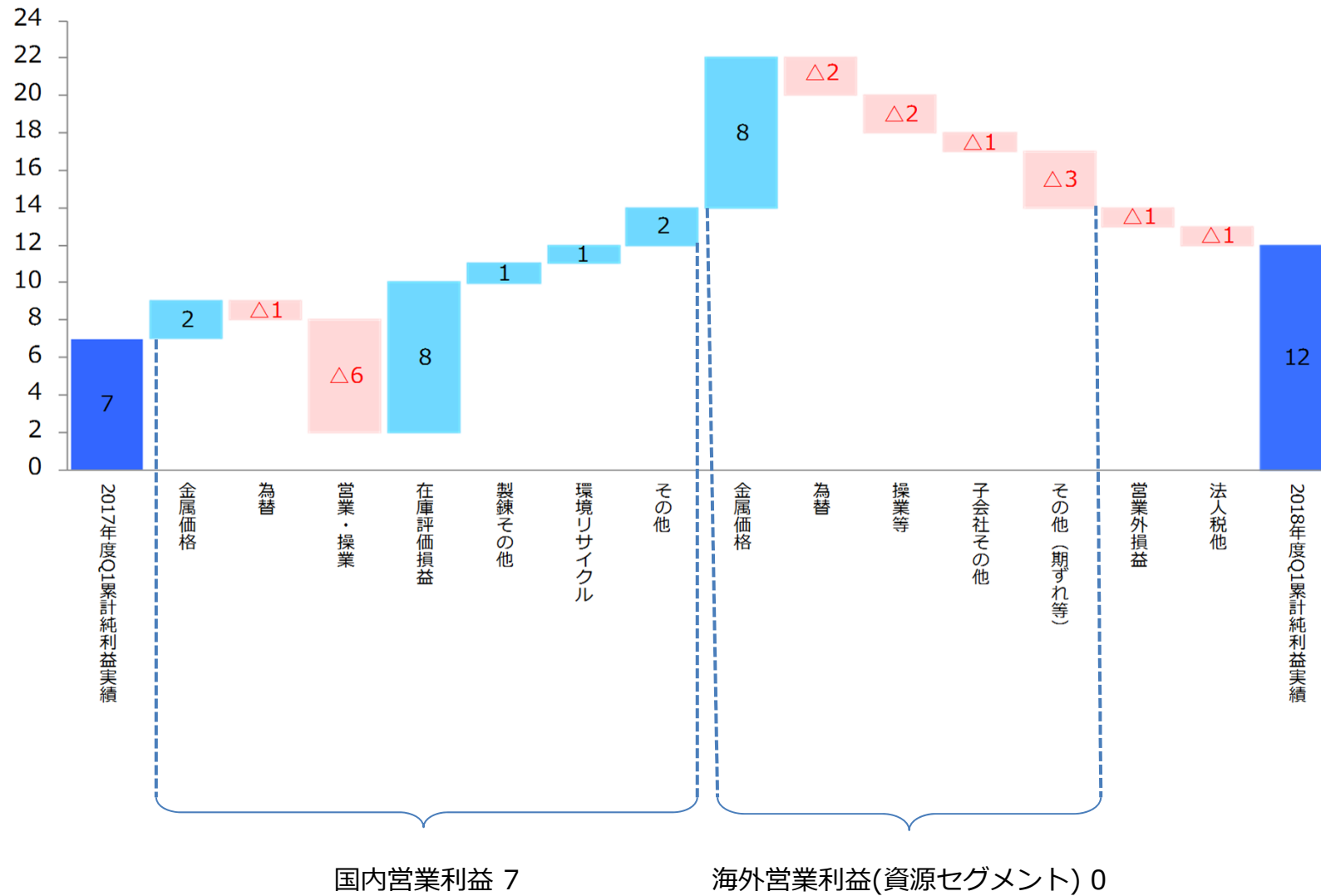
(6)前年同期比較(収支)

		前年同期	Q1累計	差(実額)	差(%)	
収支	売上高(億円)	288	307	19	7	
	営業利益(億円)	製錬	△0.5	4.1	4.6	—
		資源	1.1	1.5	0.3	31
		電子部材	1.7	1.5	△0.2	△11
		環境・リサイクル	4.5	5.3	0.8	17
		その他	2.1	1.4	△0.7	△31
		調整額	△0.1	2.2	2.3	—
		計	8.8	16.0	7.2	82
	経常利益(億円)	9.5	15.7	6.2	65	
	純利益(億円)	7.4	12.2	4.8	65	
EBITDA(億円)	22.4	30.7	8.3	37		

1. 収支の状況

(6)前年同期比較(収支)

単位：億円



1. 収支の状況

(7) 四半期単位比較

2018年度		Q1実	Q2実	Q3実	Q4実	累計
売上高(億円)		307				307
営業利益(億円)	製錬	在庫評価損益	5.8			5.8
		上記以外	△1.7			△1.7
		計	4.1			4.1
	資源		1.5			1.5
	電子部材		1.5			1.5
	環境・リサイクル		5.3			5.3
	その他		1.4			1.4
	調整額		2.2			2.2
	計		16.0			16.0
経常利益(億円)		15.7				15.7
純利益(億円)		12.2				12.2
EBITDA(億円)		30.7				30.7

(ご参考)

2017年度		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)		288	351	377	320	1,336
営業利益(億円)		8.8	54.6	51.7	16.0	131.0
経常利益(億円)		9.5	54.0	51.0	17.0	131.6
純利益(億円)		7.4	40.1	41.7	14.5	103.7

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2018年3月末 実績	2018年6月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		138	116	△22
	受取手形・売掛金		201	187	△14
	たな卸資産		419	416	△4
	その他		19	26	7
	計		778	744	△33
固定資産	有形固定資産		409	404	△5
		内CBH社関係	96	95	△1
		(豪\$百万表示)	(109)	(117)	(8)
	無形固定資産		125	118	△7
		内CBH社関係	124	118	△7
		(豪\$百万表示)	(141)	(144)	(3)
	投資その他		60	56	△4
計		595	579	△16	
資産 合計		1,373	1,323	△49	

2. 財務の状況








(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2018年3月末 実績	2018年6月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形・買掛金		77	71	△7
	有利子負債	CP	80	80	0
		短期借入金	115	109	△6
		長期借入金	332	323	△9
		有利子負債計	526	512	△14
	その他負債		145	138	△7
	計		749	721	△28
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金・自己株式	98	98	0
		利益剰余金	252	247	△5
		株主資本 計	497	492	△5
	その他包括利益		127	111	△16
	計		624	603	△21
負債・純資産 合計			1,373	1,323	△49

2. 財務の状況

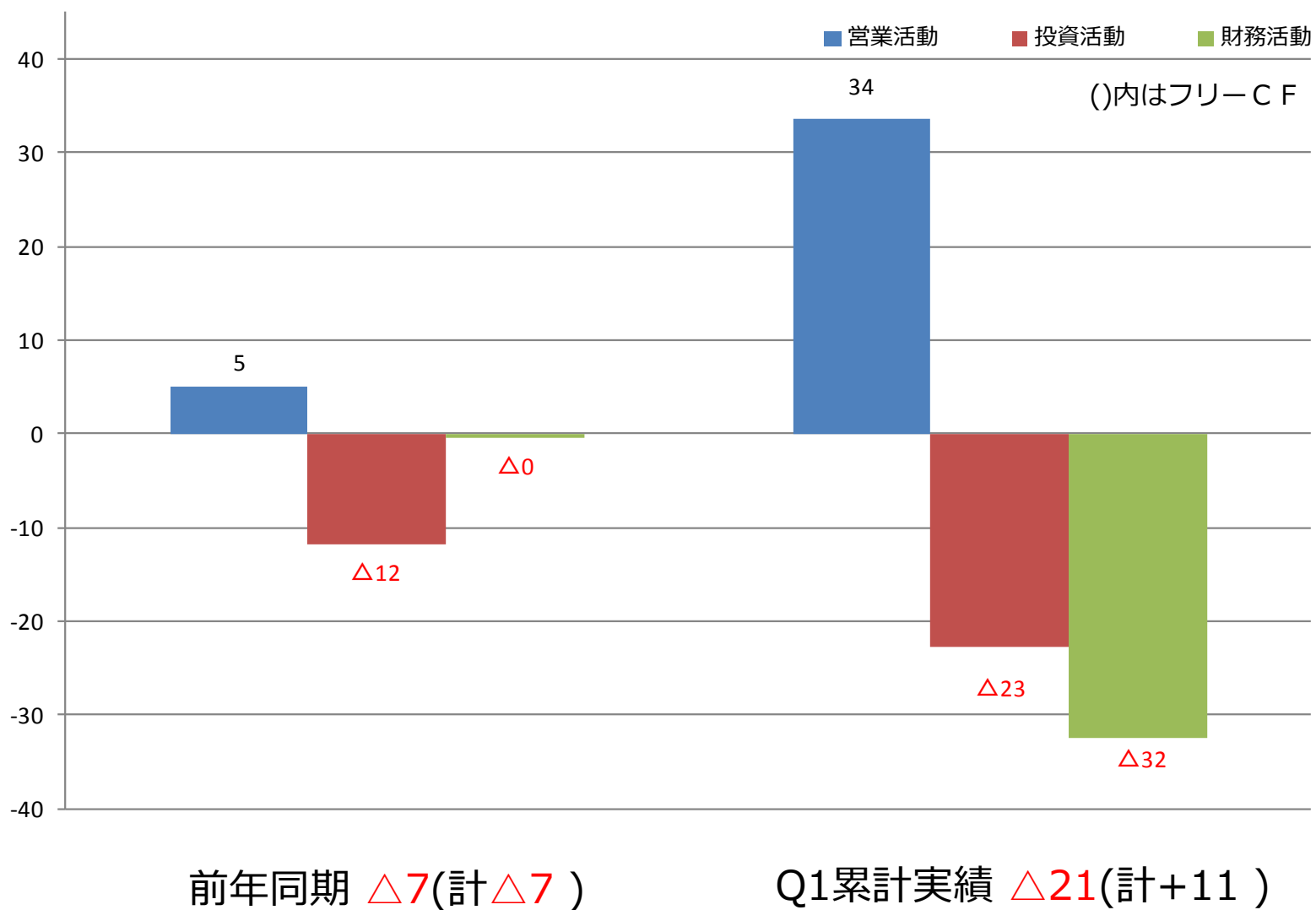
(2)主要財務指標の変化

	前年同期		Q1累計
自己資本比率	40.9%		45.5%
D/Eレシオ	1.1倍		0.8倍
D/EBITDAレシオ (年換算)	6.2倍		4.2倍
純利益/自己資本(ROE) (年換算)	5.7%		8.0%
純利益/売上高	2.6%		4.0%
売上高/総資産	0.9回転		0.9回転
総資産/自己資本	2.4倍		2.2倍

2. 財務の状況

(3) キャッシュ・フローの推移

単位：億円



3. 資源セグメントの状況

前年同期比+0.3億円
 ⇒内、CBH社営業利益 +3.5億円
 (内、市況等他律要因 +5.4億円)

①エンデバー鉱山

前年同期比+3.0億円(内、市況等他律要因 +3.3億円)
 他律要因を除くと若干の減益

②ラズプ鉱山

前年同期比 △0.0億円(内、市況等他律要因 +2.2億円)
 他律要因を除くと 2.2億円の減益→出荷減と粗鉱品位の悪化

③期ずれ等

前年同期比△3.1億円⇒主に3か月ずれの影響

利益(億円)		前年同期	Q1累計	差(実額)	
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	2.4	5.4	3.0	①
	ラズプ鉱山	4.6	4.6	△0.0	②
	その他	△0.1	0.4	0.4	
	計	6.9	10.4	3.5	
その他(期ずれ等)		△5.8	△8.9	△3.1	③
資源セグメント利益		1.1	1.5	0.3	

II. 2018年度 感応度

	変動幅	2017年度試算		2018年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	*内CBH	連結営業利益影響額	*内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥67百万	¥46百万 (豪\$560千)	¥50百万	¥34百万 (豪\$410千)	△¥17百万	△¥12百万 (△豪\$150千)
鉛	\$10/t	¥37百万	¥31百万 (豪\$370千)	¥28百万	¥23百万 (豪\$280千)	△¥9百万	△¥8百万 (△豪\$90千)
円/米\$	1円/米\$	¥80百万	-	¥64百万	-	△¥16百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$2.9百万	同左	豪\$3.7百万	同左	豪\$0.8百万	同左

* 円換算は82.0円/豪\$を使用

尚、CBH社を連結する際に円/豪ドルレートを使用して円換算を行う。したがって、CBH社の豪ドル建損益水準は、連結段階では、最終的に円/豪ドルレートにより決定される。

年内精鉱生産量の1/3につきキャップとフロアーを固定したオプションを契約しており、市況感応度はキャップ－フロアー内の市況を前提としたもの。